

郡山市生成AI 活用ガイドライン 【第3版】



人口減少社会・超高齢社会において、限りある職員数で行政需要に対応するためには、デジタルを最大限活用した行政運営が不可欠となります。

職員数が不足し、行政課題に対応できない事態を避けるためにも、生成AIを皆さんのパートナーとし、上手に活用していく必要があります。

第3版 改定のポイント

- ① LGWAN環境で利用可能なツール「exaBase生成AI for自治体」の機能紹介ページを拡充
- ② 「画像アップロード機能」運用開始に伴い、運用ルールや効果的な活用方法を追記
- ③ 「生成AIの業務利用に関するチェックリスト」の新設

業務における生成AIのルール等について記載したガイドラインです。これら内容に変更があった際は、随時更新します。

1 活用する生成AI

(1) テキスト生成のAIに限ります。

画像、動画、音声の生成AIは、生成物によって、著作権を侵害する恐れを排除することができないため、原則、使用を禁止するものとします。



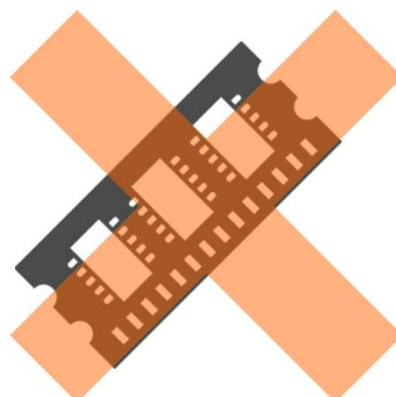
テキスト生成

質問を入力することにより、AIが内容を解析し、回答を作成する



画像生成

入力内容に応じて、AIが画像を生成する



動画生成

入力内容に応じて、AIが動画を生成する



音声生成

入力内容に応じて、AIが音声を生成する

(2) 本ガイドラインに掲載しているツールに限ります。

テキスト生成AIのうち、本市のネットワーク環境において安全な連携方法が確立済である、本ガイドラインに掲載しているツールを使用してください。

2 テキスト生成AIで出来ること

一部の適さない事項を除き、様々な業務で活用できます。

(1) 効果が期待できるものの一例

- あいさつ文、添書等の案の作成
- 世代間における文章の言い換えや多言語翻訳
- 計画等の文書を作成するための章立て
- キャッチフレーズ等のアイデア出し
- 多種多様な課題の発見とその解決方法のアドバイス

など様々な業務で活用することができます。

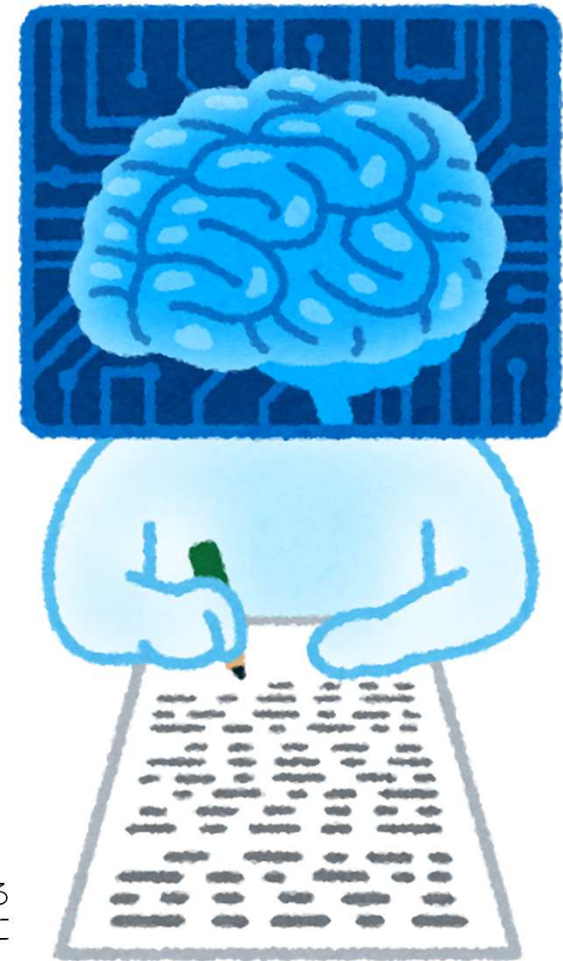
(全ての生成物において真偽の判定が必要)

(2) 適さない事項

- 検索エンジン的な活用（偽情報がまぎれる（※））
- 業務マニュアルやフローチャートの作成（必要な情報を生成AIが学習していない）
- 税額の計算等の正確性が高度に求められるもの

※（生成AIのリスク）

生成AIの性質上、誤った出力（ハルシネーション）を完全に防ぐことは極めて難しいとされているほか、従来のAIでも指摘されていた学習過程・出力過程の信頼性・透明性への懸念、大量のデータに潜む偏見や差別等のバイアスをそのまま再生成することなど、様々なリスクも指摘されています。



3 業務上の利用に当たってのルール

①本ガイドラインに定めのない ツールやサービスの利用禁止

- 入力した内容がAIに学習されることを防ぐため、利用できる生成AIは本ガイドラインに定めのあるもののみとします。
- 利用環境に応じて情報の取扱制限を設けており、特に機密性3の情報についてはいずれの環境においても取扱禁止とします。

機密性	セキュリティポリシー上の分類	情報資産の例
3	秘密文書に相当する、高い機密性を要する情報資産	個人情報、契約関係情報、訴訟・審査請求等に関する情報
2	秘密文書に相当しないが、直ちに一般に公表することを前提としていない情報資産	内部通知、事案決定手続きを経ていない企画資料、経常業務の事務手順や実績
1	機密性2・3以外の情報資産	市ウェブサイト等で公開済みの行政情報

取扱禁止

②権利侵害や虚偽の情報を含む 生成物の排除

特に生成物を外部に公開する場合には、以下の観点から入念に確認してください。

- 既存の著作物等に類似しないか確認する。
- 虚偽の情報が含まれていないか疑い、ファクトチェックを徹底する。

③原則として、生成物は そのまま利用しない

- 生成した文書は原則としてそのまま利用せず、職員の手で推敲してください。
- そのまま引用する場合には、「この文章の全部（または一部）は生成AIの「exaBase生成AI for自治体」から引用しています。」というような出典を明記してください。

※2024年4月に総務省・経済産業省が示した「AI事業者ガイドライン」において、AI利用者においてもアカウントビリティを果たすことが求められております。

4 利用環境

直接生成AIにはアクセスせず、以下のいずれかのツールを介して利用します。（入力した内容がAIに学習されるのを防ぐため）



サービス	公務員業務専用ChatGPT 「マサルくん」	exaBase生成AI for自治体 NEW!
利用可能 ユーザ	会計年度任用職員を 含む 全職員	会計年度任用職員を 除く 正職員、 任期付職員、再任用職員
端末機	執務室で使用している業務端末機 ※ スマホからでも使用可能	執務室で使用している業務端末機
環境	インターネット接続系	<u>LGWAN接続系</u>
特徴	国が発行している各種「白書」や「基本計画」等が追加学習されており、行政情報に基づく高い正確性が期待できる。	- 最新の大規模言語モデルである「GPT-4o」が利用可能（文字数制限あり） <u>独自データ連携機能を有している。</u>
利用開始 時期	2024年2月～	<u>2024年10月～</u>
取扱可能な 情報	機密性1（公表可能な情報）のみ可	<u>機密性2</u> （秘密文書に相当しないが、直ちに一般に公表することを前提としていない情報）まで可

5 効果的な活用方法 ～生成AIをのりこなす～

生成AIの回答（文章）はプロンプト（入力）により大きく左右されます。

このため、思うような回答（文章）を導くためには、次の手順が必要となります。

①イメージ

生成AIによって作成された文章は、プロンプトによって与えられた情報及びインターネット上にある既存の情報を基に整理しているにすぎません。

このため、生成AIを利用する職員はどのような回答（文章）が欲しいのかイメージし、生成AIが適切な回答ができるよう、有用な情報を入力する必要があります。

②プロンプト

完成した文章をイメージし、プロンプトを行います。この場合のポイントは以下のとおりです。

- ・ **具体的かつ明確に入力**する。
- ・ **情報は多く与えた方が良い**傾向にある。

③評価、再プロンプト（対話）

得られた回答を評価します。

- ・ イメージどおりの仕上がりか
- ・ 誤った情報が含まれていないか

これらを踏まえ、必要に応じて再度プロンプトを実行します。

プロンプトを繰り返しAIと対話することで、イメージした回答に近づけることが可能です。

6 実例

動機・目的

D X 郡山推進計画の作成を行うために、計画に記載すべきこととその章立てを整理したい。

①イメージ（回答に期待すること）

✓章立てが回答にあること。

✓次の2点は重要である。①少子高齢化社会、労働力人口減少の中、業務効率化は不可欠であること。②行政手続きのオンライン化をはじめとする市民サービスの向上が不可欠であること。

✓国の取組等との整合が図られていること。

②プロンプト

郡山市のD X 推進計画において、少子高齢化社会による行政サービスの維持や業務効率化、オンライン行政サービスの充実、国やほかの自治体との整合性確保が重要ですが、それ以外にも自治体が行うべき具体的な行動があります。自治体がD X 推進の上で必要なポイントを教えてください。

③評価、再プロンプト（対話）

AIの回答

自治体がDX推進の上で必要なポイントは以下のようなものがあります：

1. ビジョンの設定：DXの具体的な目標や方向性を明確に設定することが重要です。それにより、全体の方針や戦略を明確化し、組織全体が一丸となって取り組むことができます。
2. リーダーシップの確立：DXを推進するためのリーダーシップを確立することが重要です。上層部や経営者がDXの重要性を理解し、積極的に取り組む姿勢を示すことが求められます。
3. 職員の教育・能力向上：DXを実現するためには、職員の能力向上が不可欠です。職員の教育・研修を積極的に行い、最新のテクノロジーやデジタルスキルを習得させることが重要です。
4. データの活用：データはDXの鍵となる要素です。自治体は、データの収集・分析・活用に積極的に取り組む必要があります。データドリブンな意思決定やサービス改善により効果的な行政サービスを提供することが可能となります。
5. インフラストラクチャーの整備：DXを推進するためには、適切なITインフラストラクチャーの整備が必要です。高速なネットワーク環境やセキュリティ対策を行い、オンライン行政サービスを円滑に提供できる環境を整えることが求められます。
6. 協力体制の構築：DXは単独で行うことが難しい場合があります。国や他自治体との協力体制を構築し、情報の共有や規模の経済性を追求することが重要です。連携を図ることで、より効果的なDX推進が可能となります。
7. アジャイルなアプローチ：DXは急速に進化する領域であり、柔軟な対応が求められます。アジャイルなアプローチを取り入れ、小さな改善や実験を通じてDXを進めることで、早期に成果を出すことができます。

これらのポイントに注力することで、自治体はより効果的なDX推進を行い、行政サービスの向上や業務効率化を実現することができます。

評価 1

ポイントとその概要が示されたが、章立てになっていない。（概要を得られたことは、想定外であったが、有用である。）

評価 2

業務効率化と市民サービスの向上が書かれていない。

評価 3

デジタル人材の育成やデータ利活用など、国の施策が反映されている。

↓
以上を踏まえ、再プロンプト

③評価、再プロンプト（対話）

再プロンプト

以上の7つの項目に、業務効率化と市民サービスの向上の2項目を加え、郡山市のDX推進計画の章立てを作成してください。

AIの回答

<郡山市のDX推進計画>

- I. はじめに
 - DX（デジタルトランスフォーメーション）とは
 - 郡山市におけるDX推進の背景
- II. ビジョンの設定
 - DX推進の具体的な目標と方向性の設定
- III. 業務効率化の推進
 - A. 行政サービスの効率化
 - 1. 既存業務の見直しと改善
 - 2. プロセスの自動化と効率化
 - 3. システムの導入と連携による効率向上
 - B. データ駆動型の意思決定
 - 1. データ収集・分析の強化
 - 2. データに基づく優先順位の設定
 - 3. 報告体制の構築と情報共有の促進
- IV. 市民サービスの向上
 - A. オンライン行政サービスの充実
 - 1. ウェブサイトのリニューアルと改善
 - 2. オンラインでの手続きの拡充
 - 3. モバイルアプリの導入と利便性向上
 - B. 市民参加の促進
 - 1. オンラインでの意見収集とフィードバック
 - 2. 市民向けプラットフォームの提供
 - 3. 市民との協働プロジェクトの推進
- V. ITインフラストラクチャーの整備
 - A. 高速ネットワーク環境の整備
 - 1. 公共施設や行政機関のネットワーク強化
 - 2. 市内のモバイル通信環境の充実
 - B. セキュリティ対策の強化
 - 1. 安全性を確保するための対策の実施
 - 2. データプライバシーと個人情報保護の徹底

- VI. 職員の教育・能力向上
 - A. DXに関する教育・研修の実施
 - 1. デジタルスキルの習得と情報セキュリティの学習
 - 2. 最新テクノロジーの研究と活用方法の共有
 - B. 組織の文化と風土の変革
 - 1. DXを推進するための組織改革
 - 2. 情報共有と協働を促進するコミュニケーション活性化
- VII. 協力体制の構築
 - A. 国や他自治体との協力
 - 1. 情報共有とベストプラクティスの共有
 - 2. 共同プロジェクトの推進と資源共有
 - B. 市民との連携と協働
 - 1. 市民との対話を促進するプラットフォームの構築
 - 2. 市民の意見を反映したサービスの設計と提供
- VIII. ステップ実施計画
 - DX推進のためのステップ実施計画の策定と期日の設定
- IX. 結びにかえて
 - DX推進による成果と効果の検証と評価
 - 郡山市の持続的なDX推進の取り組み

以上が郡山市のDX推進計画の章立て案です。計画の内容及び必要な項目に応じて調整してください。

評価

イメージのと通りの章立てがなされた。

評価

業務効率化、市民サービスの向上の他、国の計画や社会情勢、需要が盛り込まれた。

評価

DX推進計画を作成するにあたり、十分参考に足るものとなった。

7 独自データ連携機能について

独自のデータ（各種計画や庁内向けマニュアルなど）を参照して回答を生成することができる機能です。

郡山市の計画や特性を反映した精度の高い回答精製や内部事務マニュアルの検索、庁内の問い合わせ対応の自動化などへの応用が可能となります。

チャットパートナー「データ連携（GPT-4o）」を選択して利用してください。



独自データベースに登載している資料

- ※ 1 登載するデータやフォルダ構成は予告なく変更となる場合があります。
- ※ 2 計画やマニュアルが改定した際は、データベースを更新する必要があるため、D X戦略課へ御連絡ください。
- ※ 3 特定の所属のみが閲覧することができるフォルダを作成することも可能ですので、D X戦略課へ御相談ください。

No	カテゴリ（参照フォルダ名）	データの内容
1	01_各種計画	ガルーン掲示板「共通掲示板＞各種計画」に掲示している計画でそれぞれ最新のもの（概要版や添付資料等は除く）
2-1	02_マニュアル関係	ガルーン掲示板「共通掲示板＞庶務担当者テキスト」に掲示しているテキスト（概要版は除く）
2-2		ガルーン掲示板「共通掲示板＞契約事務＞共通＞電子契約＞電子契約運用マニュアル」に掲示しているもの全て
2-3		ガルーン掲示板「共通掲示板＞契約事務＞委託契約関係＞手引き等」に掲示しているもの全て
2-4		ガルーン掲示板「共通掲示板＞契約事務＞委託契約関係＞電子入札＞電子入札操作マニュアル」に掲示しているもの全て
2-5		ガルーン掲示板「共通掲示板＞政策開発部＞D X戦略課＞マニュアル関連」に掲示しているもののうち、 ・ デジタルツール活用ガイド ・ 生成AI活用ガイドライン_第3版 ・ オンライン申請サービスの基本的な使い方 ・ 行政手続きオンライン化ガイドライン
3	03_市長あいさつ文	・ 2019-2023年度あいさつ文
4	04_市議会定例会会議録	・ 令和2年3月から令和6年6月までの郡山市議会定例会会議録

「独自データ連携機能」の活用例

指示：町内会の新年会で市長が読み上げる挨拶文を、500字程度で考えてください

RAG機能を使用しなかった場合 (GPT-3.5：標準精度を選択)

尊敬する皆様、

新年あけましておめでとうございます。私たちの町内会の一員として、この特別な日を迎えることができ、心から感謝しております。

新しい年を迎えるにあたり、私たちはまず感謝の気持ちを忘れずに始めたいと思います。皆様の温かいご支援と協力がなければ、私たちの町は成り立ちません。心から感謝申し上げます。

今年も私たちの町は、さまざまな課題に立ち向かわなければなりません。しかし、私たちは困難に立ち向かう強い絆を持っています。地域の一体感と協力を大切に、困難を乗り越える力を発揮していきましょう。

町内会は、地域の結びつきを深めるための重要な役割を果たしています。今年も地域の交流やイベントの開催など、様々な活動を通じて絆を深めていきます。皆様のご意見やご要望をお聞きし、より良い町づくりのために努力してまいります。

(中略)

新年のご挨拶と町内会の活動についてお伝えしましたが、最後に私たちの町の未来について考えることが大切です。私たち一人ひとりが積極的にに関わり、責任を持ちながら、地域の発展に寄与していきましょう。

新年を迎えるにあたり、皆様のご健康と幸せを心からお祈り申し上げます。本年も皆様にとって充実した一年となりますよう、心からお祈りしております。(1202字)

⇒文字数の指定が守られず、一般的な内容
の挨拶文が生成されました



RAG機能を使用した場合 (データ連携 (GPT-4o) / Standardを選択)

新年あけましておめでとうございます。

町内会の皆様には、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年は市制施行100周年の記念すべき年であり、これまでの歴史と功績を振り返りながら、次の100年に向けて新たなスタートを切る年にしましょう。

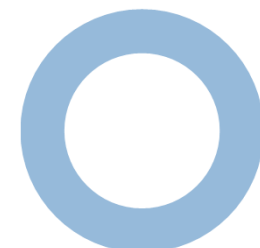
2030年のSDGs目標年限や2050年のCO2排出量実質ゼロを視野に入れ、「ベビーファースト」の理念のもと、DX（デジタルトランスフォーメーション）を加速させ、市民・団体・事業者の皆様との「公民協奏」によるGX（グリーントランスフォーメーション）にも取り組んでまいります。

先人から受け継いだ「開物成務」の精神を胸に、誰一人取り残されることなく、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じられる「ウェルビーイング (well-being) なまち郡山」の実現を目指してまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町内会の皆様とそのご家族のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。(442字)

※「2024年度 郡山青年会議所広報誌1月号 年頭祝辞」および「郡山商工会議所 会報1月号 新年の御挨拶」を参照して生成

⇒文面が、過去の市長挨拶文を参照した構成となっており、本市独自のキーワードが含まれた挨拶文を生成できました



8 プロンプトテンプレート機能について

「議事録・メール・文書作成」「校正・翻訳・要約」「VBA・Excel・データ分析」などさまざまなテンプレートが用意されており、テンプレートに沿って入力すると、適切なプロンプトが自動的に作成される機能です。

生成AIとの会話の開始時に、「テンプレートを使用」を選択して利用してください。

お疲れ様です！
どんな**作業**をお手伝いしましょうか？

テンプレートを使用

様々な用途に対応したテンプレートが用意されているので、用途を選択し、テンプレート内に必要な事項を入力し「決定する」ボタンを押下してください。

テンプレート

標準	議事録・メール・文書作成
議事録・メール・文書作成	議事録を作成する
校正・翻訳・要約	会議のアジェンダ作成
調査・企画・アイデア出し	メール新規作成
生成AIの活用方法の相談	メール返信作成
マーケティング・広報	お問い合わせの回答作成
VBA・Excel・データ分析	
マネジメントサポート	
自治体	
for セールス	
魔法学校	

議事録を作成する

会議メモ/文字起こしデータ

ここに会議メモ/文字起こしデータを記入

プロンプト全文
開く

決定する

9 画像アップロード機能について

チャットパートナーの一部には、画像を読み取ることができる機能を備えているものがあります。

これを用いて、「会議中のホワイトボードや手書きのメモの画像をアップロードし、議事録を自動作成」したり、「イベントに関する画像をアップロードし、説明文や紹介文を自動作成」する等が可能となります。

なお、アップロードした画像はAIの学習には利用されません。

①チャットパートナーに「Claude」または「Gemini」を選択

②写真のアイコンに、アップロードしたい画像データをドラッグ & ドロップし、「テキスト化して」「議事録を作成して」などのプロンプトを入力

③読み込んだ画像とプロンプトをもとに、AIがテキストを生成します。

Claude 3 Haiku : 標準精度 / Economy

- GPT-3.5 : 標準精度 / Economy
Azure OpenAI (Japan)
- GPT-4o : 最高精度 / Standard
Azure OpenAI (Japan)
- データ連携 (GPT-4o) / Standard
アップロードした自社データを参照 / Azure OpenAI (Japan)
- Claude 3 Haiku : 標準精度 / Economy**
Amazon Bedrock (Japan)
- Gemini 1.5 Flash : 標準精度 / Economy
Google Cloud (Japan)

新しい会話を始める...

議事録を作成して

新商品開発に向けたマーケティング戦略会議 議事録

目録売上
100,000,000円 (税抜)

ターゲット
20〜30代の若者 (アクティブな層)

キャッチフレーズ
〇〇で、あなたの毎日をもっと楽しく！
(キャッチーで響くフレーズにしたい！)

画像アップロード機能における留意事項

①画像の品質と形式

- ・ 鮮明で、被写体がはっきり認識できる画像を使用してください。
- ・ JPEG、PNGなどの一般的な画像形式が利用可能で、静止画に限ります。
- ・ ファイルサイズが大きすぎると、アップロードに時間がかかる場合があります。
- ・ 一度のプロンプトにつき、一枚の画像アップロードを推奨します。一度に複数枚の画像をアップロードすることも可能ですが、画像を正しく認識できなくなる傾向が確認されています。

②内容の適切性

以下のような画像のアップロードは固く禁止します。

- ・ 著作権、肖像権、プライバシー権等、第三者の権利を侵害する画像
- ・ わいせつな画像や、差別的な画像
- ・ 機密性3（秘密文書に相当する、高い機密性を要する情報資産）の画像

③業務目的の明確化

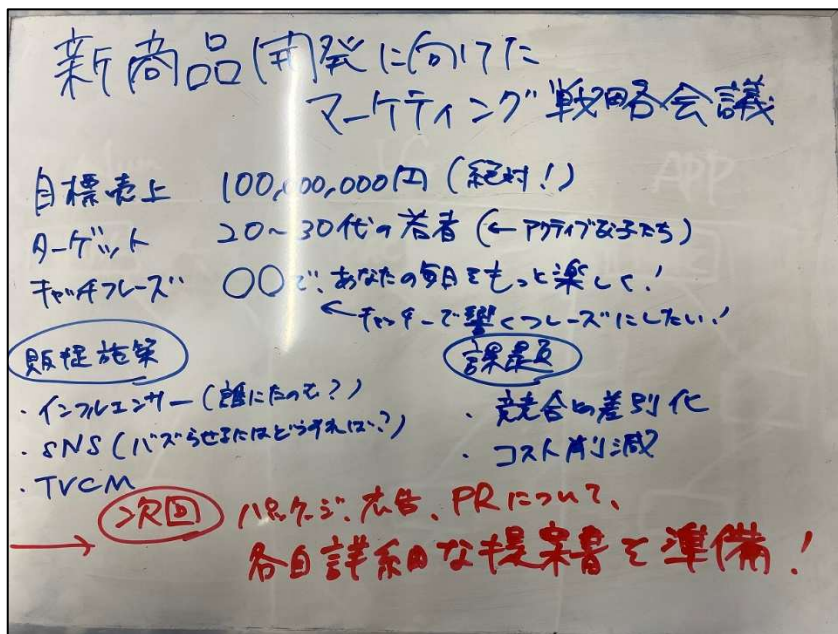
- ・ 画像アップロードの目的を明確化し、AIが適切な処理を実行できるよう、必要な情報を付与してください。
- ・ 例えば、画像認識による書類分類、物体検出による施設管理、テキスト抽出による情報収集など、具体的な目的を明確にすることで、AIの性能を最大限に引き出すことができます。

④誤認識とバイアスの防止

- ・ AIは学習データに基づいて動作するため、誤認識や偏った結果が出力される可能性があります。
- ・ 誤認識が発生した場合、その原因を分析し、適切な対応を行ってください。

「画像アップロード機能」の活用例①「議事録の作成」

指示：この会議の議事録を作成してください。



 新商品開発に向けたマーケティング戦略会議 議事録

目標売上
100,000,000円 (税抜)

ターゲット
20～30代の若者 (アクティブな層)

キャッチフレーズ
〇〇で、あなたの毎日をもっと楽しく！
(キャッチーで響くフレーズにしたい！)

販促施策

- ・インフルエンサー (誰に頼む?)
- ・SNS (バズらせるにはどうすれば?)
- ・TVCM

課題

- ・競合との差別化
- ・コスト削減

次回

パッケージ、広告、PRについて、各自詳細な提案書を準備！



ホワイトボードに手書きした内容がテキストデータ化され、議事録の形式で出力されました。

「画像アップロード機能」の活用例②「イベントのPR文作成」

指示①：この画像について解説してください。



これはメタバース空間でのイベントの様子ですね。画像から読み取れる情報をまとめると以下のようになります。

- イベント名: 采女ドンドコ交流会
- 開催期間: 8月1日(木)~8月3日(土)
- 開催時間: 各日 10:00~20:00
- 場所: メタバース空間 (正面スクリーン前)
- 内容: スクリーンで踊りを披露したり、参加者同士でコミュニケーションを取ったりしている様子が伺えます。
- その他: 「チョコミント」「レインボー」などの単語や、参加者のアバター、チャット、リアクション機能などが見られます。

イベントは盛り上がっていたようで、「だんどこ 今年も盛り上がってましたね!」というコメントも表示されています。過去のイベントの動画や写真も表示されているようです。メタバース空間ならではのインタラクションが可能なイベントであることが分かります。



画像の解析結果を踏まえ、次頁で再プロンプト

「画像アップロード機能」の活用例②「イベントのPR文作成」

指示②：このイベントをPRするためのフライヤーを作成してください。



 **メタバースでドンドコ盛り上がり！采女ドンドコ交流会開催！**

(キャッチコピー) 夏の暑さを吹き飛ばす、熱狂の3日間！

(イベント名) 🍷 采女ドンドコ交流会 🍷

(開催期間) 8月1日(木)～8月3日(土)

(開催時間) 毎日10:00～20:00

(場所) メタバース空間 (正面スクリーン前)

(内容)

- みんなで一緒に踊ろう！正面スクリーンで一体感を体験！
- 今年は特別なサプライズも！？「チョコミント」「レインボー」...キーワードに注目！
- アバターを着飾って、新しい友達を作ろう！
- テキストチャットやリアクションで、盛り上がりよう！
- 初めてのメタバース体験也大歓迎！簡単操作で誰でも参加OK！

(昨年参加者の声)

「どんどこ 今年も盛り上がってましたね！」

(その他) 最新情報は公式HPをチェック！

(メインビジュアル) (ここにイベントに関連する画像を挿入)

(QRコード) (ここに公式HPへのQRコードを挿入)

(主催) (ここに主催団体名を挿入)

この夏は、采女ドンドコ交流会で、忘れられない思い出を作りましょう！

さあ、メタバースの世界へ飛び込もう！





フライヤーの作成に必要な項目がテキストとして出力されました。

おわりに（生成AIの業務利用に関するチェックリスト）

本ガイドラインの参考資料として、生成AIを業務利用する際に押さえておくべきポイントを整理したチェックリストを以下のとおりまとめました。

生成AIの特性を十分に理解し、本チェックリストを活用の上、業務にお役立てください。

利用基準の確認

- 情報システム責任者（DX戦略課長）から支給された情報端末機で利用しているか。
- 本ガイドライン4ページに記載の生成AIを利用しているか。

情報の取り扱い

- ハルシネーションやバイアスなどの生成AIの特性を理解した上で、出力結果を適切に判断し採用しているか。
- 機密性を有する情報について、本ガイドライン4ページに基づき取り扱っているか。
- 機密性3（秘密文書に相当する、高い機密性を要する情報資産）を入力していないか。

出力結果の利用

- 生成物が著作権を侵害していないか確認しているか。
- 生成物に虚偽のものが含まれていないか、ファクトチェックを行っているか。
- 生成物を公開する際、人の手で推敲したか。または、生成物をそのまま公開する場合、出典を明記したか。

活用効果の最大化

- 業務効率化や市民サービス向上などの目的を達成する観点で、生成AIを効果的に活用しているか。
- プロンプトの設計を工夫し、生成AIの出力結果が求める内容に即しているか。